

第1日 11月29日(土)

第1会場:701 / 第2会場:702 / 第3会場:101

受 付(1階エントランスホール)			
開会式(701教室)			
	第1会場(701教室)	第2会場(702教室)	第3会場(101教室)
11:00~			
11:45~11:55			
12:00~12:30	青柳英治(明治大学) 職務経歴からとらえた専門図書館職員のキャリア形成の変化のプロセス:知識・技術を構成する要素をもとに	對崎奈美子(東京学芸大学) 徳田悦子(東京学芸大学) デジタル時代に対応する学校図書館のあり方を問う:全国400市区町村教育委員会学校図書館担当指導主事への調査	水沼友宏(筑波大学大学院) 辻慶太(筑波大学) 指定管理者制度導入館と直営館の現況比較:レファレンスサービスを中心として
12:30~13:00	宮原志津子(相模女子大学) 河村俊太郎(愛知淑徳大学) 安井一徳(会計検査院) 古賀崇(天理大学) 吉田右子(筑波大学) 専門課程における図書館情報学教育の展開	畔田暁子(筑波大学大学院) 鈴木佳苗(筑波大学) 平久江祐司(筑波大学) 中学校美術科の鑑賞学習における図書館の利用に関する調査	佐々木美緒(政策研究大学院大学) 公共図書館における課題解決支援サービスの実践:市町村立図書館調査から
13:00~13:30	武井千寿子(筑波大学大学院) 芳鐘冬樹(筑波大学) 逸村裕(筑波大学) 研究の学際性に影響を与える要因:図書館情報学分野を対象に	江竜珠緒(筑波大学大学院) 学習支援における学校図書館専門職員と教員との連携:役割・職務関係の分析を基に	呑海紗織(筑波大学) 溝上智恵子(筑波大学) カナダの公共図書館におけるコミュニティ主導型の高齢者サービス
13:30~14:00	浅石卓真(東京大学大学院) 影浦峯(東京大学) 根本彰(東京大学) 図書館情報学検定試験の結果分析	永利和則(筑波大学大学院) 学校図書館支援センター推進事業の成果と課題	橋本磨美(筑波大学大学院) 1990年代後半以降におけるアメリカ連邦政府の図書館政策:図書館サービス技術法に基づく補助金政策の動向
14:00~14:30	山田翔平(東京大学大学院) 志村瑠璃(東京大学大学院) 影浦峯(東京大学) 戸田慎一(東洋大学社会学部) 海野敏(東洋大学社会学部) 知識を記述する文字記号の図書の紙面における表れ方及びその経年的変化:戦後ベストセラーを対象にして	吉澤小百合(筑波大学情報学群) 平久江祐司(筑波大学) 学習支援に関する司書教諭と学校司書の職務の現状と役割意識:質問紙調査を基に	池内淳(筑波大学) 稲垣里美(東京都立図書館) トラベルコスト法を用いた公立図書館の経済価値の測定
14:30~15:00	松林正己(中部大学) 歴史研究あるいは史料分析ツールとしてのArchivGrid:現状とその展望	河西由美子(玉川大学) Kuhlthau らの"Guided Inquiry"の枠組みを援用した中学3年生の探究学習の分析	三根慎二(三重大学人文学部) 上田修一(立教大学文学部) 誰がどのくらい公共図書館を利用しているのか
15:00~15:15	休 憩		
15:15~15:45	長谷川豊祐(鶴見大学) 吉田千登世(鶴見大学) 八巻千波(鶴見大学) 菊地高志(富士通株式会社) 井出浩之(富士通株式会社) 貸出履歴の書架管理業務への活用	杉本ゆか(筑波大学大学院) 平久江祐司(筑波大学) 読書による能動的な読み手の育成:クリティカル・リーディングの可能性	石田栄美(九州大学) 宮田洋輔(帝京大学) 岩瀬梓(慶應義塾大学大学院) 南友紀子(慶應義塾大学大学院) 上田修一(立教大学) 倉田敬子(慶應義塾大学) 検索能力とその要因との関係モデル
15:45~16:15	渡邊美紀(首都大学東京) 大学図書館の選書及び貸出データに関する定量分析	中島正明(安田女子大学) 『現代読書指導事典』の内容分析	安形輝(亜細亜大学) 安形麻理(慶應義塾大学) 初期刊本の活字の識別とその応用:グーテンベルク聖書の活字のクラスタリング
16:15~16:45	史虹波(首都大学東京) 渡邊美紀(首都大学東京) 荻原暎子(首都大学東京) 機械学習による図書貸出記録データの構造解析	米谷優子(関西大学) 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の変遷と課題	谷口祥一(慶應義塾大学文学部) RDAモデルの再構築
16:45~17:15	佐藤翔(同志社大学) 安蒜孝政(筑波大学大学院) 寺井仁(名古屋大学/JST CREST) 原田隆史(同志社大学) 逸村裕(筑波大学) ブラウジング時に人はどのように書架を見ているのか:視線追尾装置を用いた書架閲覧実験	伴周一(日本大学理工学部) 大久保尚紀(日本大学理工学部) 岡田悟志(日本大学理工学部) 学習支援・キャリア支援機能を持たせた日本大学理工学部船橋図書館の取り組みと利用状況	大谷康晴(日本女子大学) 安形 輝(亜細亜大学) 池内淳(筑波大学) 大場博幸(文教大学) 代替医療を扱った本とその批判本の所蔵:日本の国立・公共・大学図書館の調査
17:15~17:45	三輪眞木子(放送大学) 高橋秀明(放送大学) 仁科エミ(放送大学) 柳沼良知(放送大学) 広瀬洋子(放送大学) 秋光淳生(放送大学) 放送大学生のデジタルリテラシースキルの定着	渡邊由紀子(九州大学附属図書館) 兵藤健志(九州大学附属図書館) 大学図書館における学生協働に見る図書館職員の専門性	安形麻理(慶應義塾大学) 小島浩之(東京大学) 上田修一(立教大学) 佐野千絵(東京文化財研究所) 富善一敏(東京大学) 矢野正隆(東京大学) 日本の文書館におけるマイクロ資料の保存の現状:質問紙による公文書館と大学文書館の調査
18:00~20:00	懇親会(学生会館3階食堂)		

第2日 11月30日(日)

第1会場:701 / 第2会場:702 / 第3会場:101

9:00~	受 付(1階エントランスホール)		
	第1会場(701教室)	第2会場(702教室)	第3会場(101教室)
9:30~10:00	鬼頭孝佳(名古屋大学文学研究科) 博物館図書室における蔵書管理の実態	山本一治(中央大学大学院) 検索インターフェースにおける統計情報のファセットの表示	青木和人(オープンデータ京都実践会) 地域情報拠点としての公共図書館へ市民参加型オープンデータイベントが果たす意義
10:00~10:30	新藤透(山形県立米沢女子短期大学) 孫誌術(山形県立米沢女子短期大学) 公共図書館における大活字本の普及と現状:東北地方を事例に	田中省作(立命館大学) 富浦洋一(九州大学) 宮崎佳典(静岡大学) 徳見道夫(九州大学) 機関リポジトリの言語資源としての活用:大学毎の部局別英語重要語彙の選定	村上孝弘(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科/龍谷大学) 大学図書館視察委員制度の成立と展開
10:30~11:00	松戸宏予(佛教大学) 英国の大学図書館における特別支援の現状とその背景:特別支援担当と支援体制に着目して	外崎みゆき(信州大学) 海尻賢二(信州大学) 機関リポジトリ運用におけるOPAC連携検索の効果について	川瀬直人(筑波大学大学院) 雑誌記事にみる大学図書館研究に関する予備的調査
11:00~11:30	小林卓(実践女子大学) 発表辞退 図書館の障害者サービスの理論モデルの構築:メディア変換モデルを中心に	門口礼(久留米工業高等専門学校) 中野明(久留米工業高等専門学校) 書架整理効率化システムの開発と利用実験	仲村拓真(青山学院大学大学院) 大学図書館における利用者教育の実践に関する論点の展開:実践報告の分析を通して
11:30~12:00	植村要(立命館グローバル・イノベーション研究機構) 障害者差別解消法が求める公共図書館における電子書籍サービスについて	杉江典子(駿河台大学) 図書館利用者の館内位置情報を用いた量的分析の試み:情報探索行動の傾向の把握にむけて	井規子(筑波大学大学院) 中山伸一(筑波大学) 国立大学図書館における場としての利用状況の変化とその要因に関する考察
12:00~13:30	昼食・理事会(203教室)		
13:30~14:30	臨時総会・学会賞授与式(701教室)		
14:40~17:00	シンポジウム(701教室)		
17:00~17:10	閉会式(701教室)		